



北海道函館東高等学校
青雲同窓会 札幌支部 会報
2017年6月30日発行

青雲さつぽろ

題字揮毫／佐藤 徹郎

Seiun Sapporo

青雲同窓会 札幌支部 事務局

北海道札幌市中央区南1条東1丁目2-1 太平洋興発ビル6階
株式会社 デイール企画内

TEL:011-281-2510 FAX:011-281-2512

MAIL:acacia@seiunsapporo.com



～2017年 青雲同窓会 札幌支部 テーマ～

「つなげよう青雲の志！ ～懐かしい友とまた会えたね～」

唐牛先輩のこと、梅津翁のこと



青雲同窓会札幌支部 支部長
木村 清順
(昭和36年卒・東高11回生)

はや夏至も過ぎて、暑さの盛りを迎えることとなりました。札幌支部の同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。関係役員の尽力で出来あがった『青雲さっぽろ』をお届けいたします。

さて、同窓会誌にそぐわない硬い話になりますが、いま日本は北朝鮮の独善とトランプ米国大統領の強気で、注意すべき情勢になっています(4月末現在)。われわれ庶民としては、更なる緊張は避けて欲しいと願いますが、朝鮮半島は1953年以來の「休戦」中、化石化してしまった問題の解決は至難のわざです。北朝鮮の火の粉が日本に飛んでくる時代になりましたから、人ごとではありません。

日本の今後の選択肢を考えるためにも、戦後史をふりかえる意味は大きいと感じます。

わが同窓生で、戦後史にかなり強烈な足跡を残した先輩がおります。唐牛健太郎氏(湯川中一東高一北大、6回生)、60年安保闘争時の全学連委員長です。わたしも名前は聞いていたのですが、人物像や思想、委員長にかつがれた経緯や活動実績、闘争終焉後の人生などは、まったく知りませんでした。昨年、初めての評伝『唐牛伝』が出版されたので、さっそく一読しました。著者(佐野真一)が取材した事実を伝え、何を受け取るかは読者の自由、という書きぶりです。

60年安保は、わが同期にとって東高3年時の一大事件でした。先生方も生徒が過激な行動に走らないかピリピリしていたようで、討論集会などは許可されましたが、今にして思えば「ガス抜き」でしょう。安保闘争とは、反政府闘争か反米闘争か、世代間闘争だという人もおり、その性格は複雑です。唐牛氏は人が好きで人に好かれる人柄だったようですから、「人の縁」で安保闘争に飛び込んだのでは、と想像します。イデオロギー上のことはさておき、

青雲台の校風の一面を体現した先輩の一人だと思います。『唐牛伝』は市の図書館から借覧できます。

話かわって、母校の「香馥園」にある梅津翁の碑に説明板が設置されたと聞き、機会があつたはずでしたが、大理石の碑面は真っ白で読めないのですが、説明板で文章が判明したのでご紹介したいと思います。

梅津翁頌徳碑

梅津福次郎翁ハ茨城縣太田ノ人、^{じやっかん}弱冠^{きた}函館ニ來リ
雜貨商ヲ営ミテ刻苦^よ勉勵、克ク巨富ヲ積ミ、公共ノ
為ニ財ヲ散シテ惜^ずマス。本市立中學校開設ニ際シ、
率先、建築總額ヲ寄附シ、規模宏壯・構造堅牢ノ校舎^{すなわ}
乃チ成レリ。茲ニ勒^こシテ永ク其至徳ヲ頌フ。^{ろく}
^{たけ}昭和十八年六月 岡村 威儀^{のりしるす}識
^{しるす}太田 太書

起草者の岡村氏は初代の校長先生です。揮毫者の太田氏は不詳、ご存じの方はご教示ください。梅津翁は「公共心」という日本人の美德を具現実行した偉人です。同窓生のみならず、函館人がひとしく誇るべき翁の史実を、函館の子供達にはぜひ教えて欲しいものだ、とも感じました。

9月の総会では同窓の絆のもと、愉快な一時をご一緒にすごしたいと思います。皆さまがこの夏をご健勝に過ごされますよう祈念いたします。

